

北海道土木史の金字塔『弾丸道路』が土木遺産に認定！

～建設当時を振り返るパネル展を開催します～

『弾丸道路（札幌・千歳間道路）』が、土木学会の2021年度選奨土木遺産に認定され、11月18日（木）に認定書授賞式が行われました。

これを記念して、チ・カ・ホ（札幌駅前通地下歩行空間）において、建設当時の状況を振り返るパネル展を開催いたします。

1. 開催場所

チ・カ・ホ（札幌駅前通地下歩行空間）北1条西側エリア（12番出口付近）

※詳細は別紙参照

2. 開催期間

令和3年12月7日（火）9時 ～ 12月13日（月）15時

3. 展示内容

『弾丸道路（札幌・千歳間道路）』の概要、工事施工状況、開通式の様子、土木遺産認定書授賞式の模様などを紹介したパネル展示。

※『弾丸道路』とは、今から約70年前に完成した、国道36号札幌～千歳間の通称です。延長34.5kmという大工事を、当時の最新技術を導入し、昭和27年10月の着工からわずか1年余りで完成させました。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

道路整備保全課 課長 岡山 重雄（電話番号 011-611-0246 ダイヤルイン）

道路整備保全課 課長補佐 菅野 圭一（電話番号 011-611-0246 ダイヤルイン）



名 称: 弾丸道路(札幌・千歳間道路)

所在地: 北海道札幌市、北広島市、恵庭市、千歳市

竣工年: 1953(昭和28)年

選 奨 年: 2021(令和3)年度

選奨理由: 積雪寒冷地や自動車高速走行のための先駆的な設計基準を導入し、北海道に限らず全国の道路改良の指標となったため。



このたび、『弾丸道路(札幌・千歳間道路)』が、土木学会の2021年度選奨土木遺産に認定され、11月18日(木)に認定書授賞式が行われました。



授賞式の様子



銘板



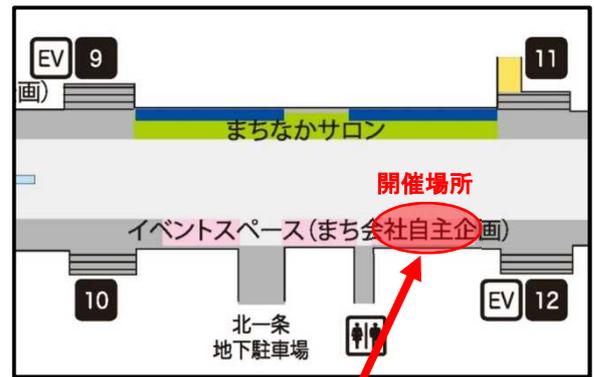
認定証

これを記念して、チ・カ・ホ(札幌駅前通地下歩行空間)において、『弾丸道路(札幌・千歳間道路)』の概要、工事施工状況、開通式の様子、土木遺産認定書授賞式の模様などを紹介したパネル展を開催します。

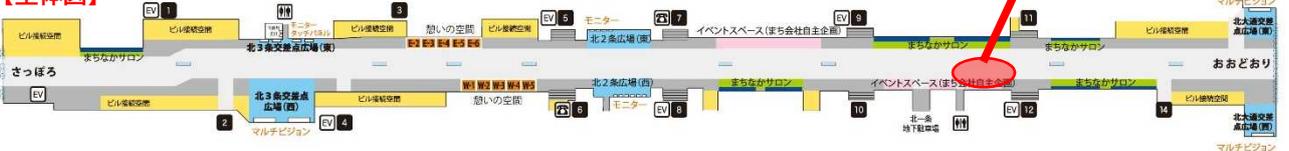
【位置図】



【詳細図】



【全体図】



なお、パネル展については、関係する地方公共団体(北海道、札幌市、北広島市、恵庭市、千歳市)でも今後開催する予定です。

【参考】認定制度の設立趣旨(土木学会HPより)

土木学会では、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、土木学会選奨土木遺産の認定制度を平成12年に設立いたしました。

土木学会としては、その結果として、(1)社会へのアピール(土木遺産の文化的価値の評価、社会への理解等)、(2)土木技術者へのアピール(先輩技術者の仕事への敬意、将来の文化財創出への認識と責任の自覚等の喚起)、(3)まちづくりへの活用(土木遺産は、地域の自然や歴史・文化を中心とした地域資産の核となるものであるとの認識の喚起)、(4)失われるおそれのある土木遺産の救済(貴重な土木遺産の保護)、などが促されることを期待しています。

展示パネルの一例

大型機械の大量導入
による短期間施工

**国道36号 札幌・千歳間道路
通称 弾丸道路**

ブルドーザによる作業状況

スパイクハローによる切込砂利と火山灰の混合作業状況

キャリアオールスクレーバによる作業状況

タンピングローラによる締固め作業状況

●労力および主要材料

区分	数量
総人数 (総数)	339,000人
鋼材	452t
セメント	7,090t
アスファルト	3,135t
切込砂利	106,021m ³
内積層	48,307m ³
砕石	33,894m ³
砕砂利	34,566m ³
砂	26,304m ³
骨材小計	191,155m ³

●主要建設機械

区分	台数
ブルドーザ	大型 7
	中型 16
	小型 19
	小計 42
キャリアオールスクレーバ	13
コンプレッサカー	1
工作車	1
コンクリートプラント	86 切
	21 削
	7 切
パワーショベル	1

大型機械の大量導入
による短期間施工

千歳間道路

**第二工区
アスファルト舗装**

アスファルトマカダム工の舗設作業状況

わが国最初の機械による鎮静作業状況

**●アスファルトマカダム基層
アスファルトコンクリート表層工**

人力による敷き均し作業状況

当時では珍しい
アスファルト舗装